

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MESC TECHNICAL NEWS

No. M16C-47-0002

M30201 フラッシュメモリ版 標準シリアル入出力モードに関する注意事項

1. 対象品

M30201F6FP, M30201F6TFP, M30201F6SP

2. 注意事項

標準シリアル入出力モードの端子 (P5₂、P5₃) 設定が、一部仕様変更になりました。
標準シリアル入出力モードへと移行するには、以下のとおり設定してください。

端子の機能説明 (フラッシュメモリ標準シリアル入出力モード)

| 端子名 | 名 称 | 入出力 | 機 能 |
|-----------------|-------|-------|--|
| CNVss | CNVss | 入力 | モードエン트리端子です。 12V±5%を印加してください。 |
| RESET | リセット | 入力 | リセット入力端子です。 リセットが“L”の間、XIN端子には20サイクル以上のクロックが必要です。 |
| P5 ₀ | TxD | 出力 | シリアルデータの出力端子です。 |
| P5 ₁ | RxD | 入力 | シリアルデータの入力端子です。 |
| P5 ₂ | SCLK | 入力 | モードエン트리端子です。電源投入時“H”を印加してください。 エン트리完了後は、シリアルクロックの入力端子となります。 |
| P5 ₃ | BUSY | 入力 出力 | 標準シリアル入出力モード1、2の切り換え端子です。 ・“H”入力…モード1 (クロック同期モード) ・“L”入力…モード2 (クロック非同期モード) モード判定後、BUSY信号の出力端子となります。 |

変更箇所

・ SCLK 端子

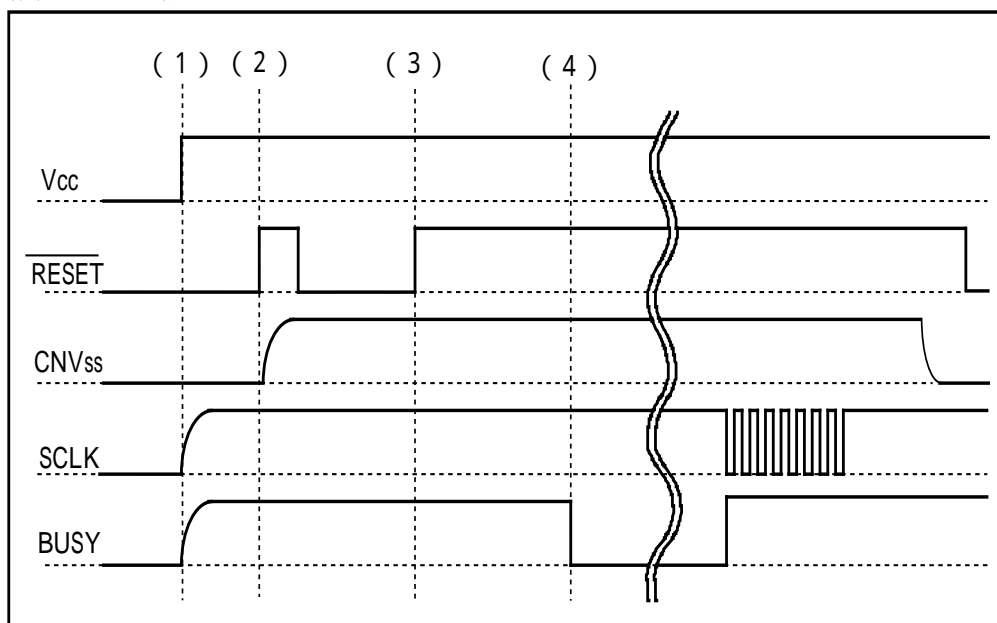
ターゲット基板で、プルアップしてください。ただし、使用するシリアルライタの内部にてプルアップされている場合、基板上のプルアップは不要です。詳細はシリアルライタの取り扱い説明書を参照してください。

・ BUSY 端子

使用するシリアルモード (クロック同期 / 非同期) に合わせて設定してください。

標準シリアル入出力モード1 (クロック同期モード) のとき、使用するシリアルライタの内部にてプルアップされている場合、基板上のプルアップは不要です。詳細はシリアルライタの取り扱い説明書を参照してください。

標準シリアル入出力モード1のエントリタイミング



- (1) ターゲット基板電源 ON
- (2) CNVss、12V 印加
CNVss は、 $\overline{\text{RESET}}$ が “H” の状態で印加してください。
- (3) シリアルモードの判定
BUSY は、 $\overline{\text{RESET}}$ 信号の立ち上がりまでに設定してください。
- (4) シリアルライターからのコマンド受信待ち

電源投入後、 $\overline{\text{RESET}} = \text{“L”}$ 、 $\text{CNVss} = 12\text{V}$ 、 $\text{SCLK} = \text{“L”}$ 状態に一度でもなると、標準シリアル入出力モードには移行できません。